



## 図書館・美術館の事業と予定



### 【幼児期の読み聞かせの大切さについて】

赤ちゃんが体の成長に母乳（ミルク）が必要なように、赤ちゃんのことばと心を育むためには、抱っここの暖かさの中で優しく語りかけてもらう時間が大切だと言われています。まだ字が読めない赤ちゃんでも、生まれた頃からお母さんの声を聞き分けることができるそうです。赤ちゃんには赤ちゃんなりの絵本の楽しみ方があります。子どもは、ことばを耳で覚え、物語の世界にひたる体験は心を育てます。

図書館では、現在も福祉保健課と連携し、0歳の赤ちゃんに本を手渡すブックスタート運動を大切に、図書館の乳幼児おはなし会（のんたんのへや）への参加を呼び掛けています。肩に力を入れず、赤ちゃんと一緒におもちゃを楽しむように”絵本の世界”を楽しんでみませんか？



9月10日～16日までの自殺予防週間に合わせ、心の健康に関する本やCDを展示しました。ストレスに直面した時の対処法、悩みを抱えている人に向けた本など、心が少しでも軽くなったり、前向きな気持ちになれるような内容の本を紹介しました。



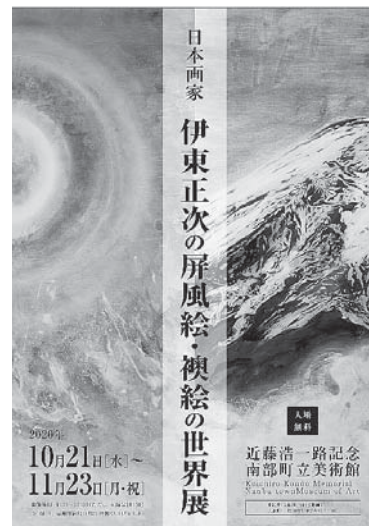
美術館では、9月8日（火）から早川町在住の画家・映水さんの作品展が30日（水）まで開催されました。作品はアクリル画や寺院を装飾する絵師として描かれた天井画の下絵など34点が紹介されました。今回は、県内各放送局の取材の他、NHK首都圏放送により県内外より多数の来館者が会場を訪れました。

### 【図書館の予定】

- 11月**
- ・乳幼児リトミック教室  
11月11（水）午前10時30分～11時30分  
講師：佐野貴子先生／長洞まゆ先生
  - ・乳幼児おはなし会 のんたんのへや  
11月18日（水）・25日（水）  
午前10時30分～11時30分
  - ・図書館映画会  
11月21日（土）  
午後3時～4時

※各種催し物は、新型コロナウイルス感染予防のため中止になる場合があります。なお、中止の場合はFM告知放送でお知らせします。

### 【美術館の予定】



日本画家  
「伊東正次の屏風絵・襖絵の世界」  
10月21日（水）～11月23日（月）まで開催します。

伝統的な屏風絵や襖絵など雄大に表現された日本画家・伊東正次先生の世界をご堪能ください。

## NEW 新着図書



## 「灯台からの響き」

宮本輝著  
集英社

本の間から、亡き妻宛てに30年前に届いたハガキを見つけた康平。そこに描かれていたのは、海岸線と灯台のように見える線画。妻の過去を知るために、康平は灯台を巡る旅に出る。

## 「心淋し川」

西條奈加著  
集英社

江戸の片隅、小さなぶ川沿いに立ち並び古い長屋。住民たちは人生という川のどん詰まりでもがいていた。懸命に生を紡ぐ人々の切なる願いが胸にしみる連作時代小説。



## 「やがて訪れる春のために」

はらだみすずき著  
新潮社

世がさだめなきからこそ人は書くのだろう。伝わる、残る、心に届く言葉の数々がここに。角田光代、三浦しをん、藤沢周、林真理子ら、一流文筆家の名文を収録。日本文藝家協会編纂のエッセイ・アンソロジー。

## 「新しい生活」

曾野綾子著  
ポプラ社

コロナ禍をはじめ、思いもよらぬ苦難に人はどう立ち向かうべきか。「ある時期からは余生と思え」「力が及ばない運は神のせいにしていい」先が見えない時代、自分なりの生きがいを見出すための心得を伝える。



## 「夏目漱石『心』を読み直す」

小森陽一著  
かがわ出版

夏目漱石の小説「心」を感染症との因果関係の連鎖で読み直してみると、日清戦争が大日本帝国をどのように変質させたのかという一連の問題系が浮かび上がってきた。漱石の「心」をコロナ禍の今と重ねて読み直す。

## 「20代で得た知見」

F著  
kadokawa

人生は、忘れがたい断片にいくつ出会い、心を動かされたかで決まる。2017年刊「いつか別れる。でもそれは今日ではない」の著者が「20代で得た知見」として、時代を生き抜くのに必要なこと、愛に纏わることなどを綴る。



## 「誰にも訪れる耳の不調・難聴を乗り越える本」

杉浦彩子著  
さくら舎

誰もがいずれ耳が遠くなる。難聴とは何か、どうしてなるのか、現在の治療法にはどんなものがあるのかを解説する。さらに難聴をはじめとする耳の不調について心理的な観点からも考察し、耳との上手な付き合い方を明かす。

## 「絶対に挫折しない日本史」

古市憲寿著  
新潮社

思い切って固有名詞を減らしてしまい、流れを超俯瞰で捉えれば、日本史はここまでわかりやすくて面白くなる! 歴史学者ではない著者だからこそ書けた、全く新しい日本史入門。



## 子どもの本はすごい! もう一度見直す児童書の世界!



## 「いま、子どもの本が売れる理由」

飯田一史著  
筑摩書房

本の売れない時代に、子どもの本はなぜ売れる? 終戦から現代までの子供の本をめぐるヒット作の謎が解き明かされます。



## 「はじめての読書メソッド」

本が苦手な子を本好きにする17の方法  
有元秀文著 松原ゆかり著  
合同出版

子どもの読書レベルや興味関心に合った本を選び、教師や親といっしょに話し合いながら読書を楽しめる17のメソッドをイラストを交えて楽しく本を紹介しています。